

令和6年度
岩国徴古館 年報

岩国市立博物館 岩国徴古館

目次

岩国徴古館について

・岩国徴古館の目的	1
・建物について	1
・施設の所在	1
・施設の現況	1
・沿革	2
・基本方針	3
・主な事業	3
・観覧について	3
・組織・職員	3

令和6年度事業

【管理運営】

1. 開館日数・入館者数	4
2. 収蔵資料数	4
3. 施設管理	4

【事業報告】

1. 展示活動	
(1) 常設展示	5
(2) 企画展示	6
(3) 特集ミニ展示	24
2. 教育普及事業	
(1) 郷土史研究会	25
(2) 古文書講座	26
(3) 博学連携	26
(4) その他	27
3. 調査研究事業	
(1) 調査研究報告	28
(2) 研修会・講演会	28
4. 資料収集・管理・利用・保存	
(1) 資料収集（寄贈・寄託・購入・移管）	29
(2) 資料管理	29
(3) 資料利用	29
(4) 資料保存	30
5. 情報発信	
(1) 広報誌	31
(2) ウェブサイト	32
(3) SNS	32
6. 刊行物等	
(1) 刊行物等の販売	33
条例・施行規則	35

岩国徴古館について

岩国徴古館の目的

郷土に関係のある歴史・芸術・民俗および産業などに関する資料などを収集、保存、展示して、市民の利用に供するとともに、市民の文化向上に貢献し、それと同時に研究会や講演などを通じて郷土の歴史や伝統・文化などを市民により深く知ってもらうことを目的としています。

建物について

岩国徴古館は、昭和20年（1945）に完成しました。最後の岩国藩主である吉川経健の弟・重吉の、郷土に図書館と博物館を、という遺志を実現したものとされており、戦時中に建てられた珍しい博物館と言えます。

設計者は旧制岩国中学校を卒業した佐藤武夫です。早稲田大学で建築を学んだ佐藤は、戦時下の限られた資材を最大限に活用しました。構造体にはレンガを使用し、外壁には溶鉱炉から出る鉱滓で作ったブロックを貼って装飾としています。内部はこげ茶に塗った壁板と白漆喰のコントラストを利用して、落ち着いた雰囲気となっています。また、灯火管制への対策として天窓から自然光を採光する等の工夫もされていましたが、これは現在わずかに面影を残すのみとなっています。なお、竹筋コンクリートを使用しているとの説もありますが、現在までの調査では明らかになっていません。低く抑えた洋風の外観、入口の列柱、内部の裾広がりや柱や螺旋階段等、工夫が随所に施されています。

施設の所在

山口県岩国市横山二丁目7番19号

施設の現況

敷地 4,075.00 m²

本館 煉瓦造（一部木造）瓦葺

建坪（一階） 573.82 m²

エントランス

第一展示室

第二展示室

図書室・郷土史研究室

事務室・倉庫・トイレなど

二階 118.84 m²

中二階展示室

倉庫など

第一收藏庫 木造瓦葺

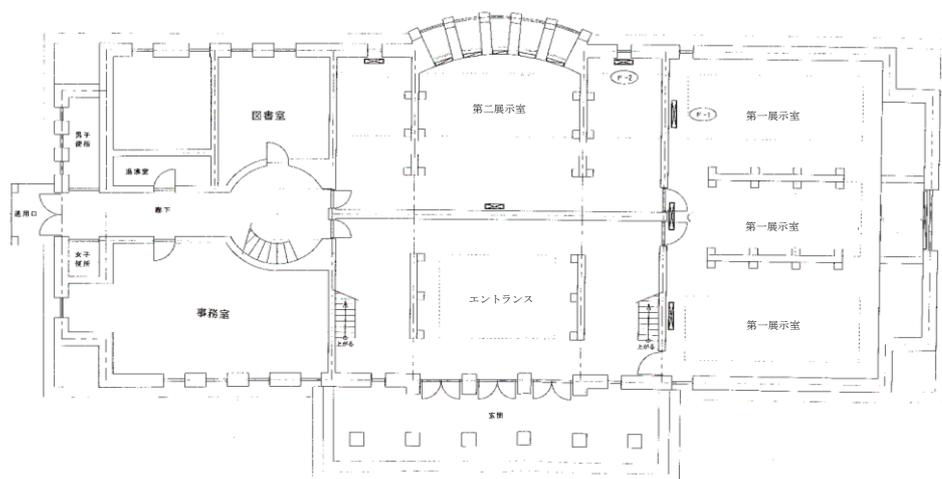
建坪（一階） 87.91 m²

二階 55.14 m²

第二收藏庫 木造瓦葺

建坪（一階） 94.90 m²

二階 64.98 m²



岩国徴古館 本館1階 平面図

沿革

昭和 15 年 (1940) 12 月 21 日	財団法人吉川報効会の理事会で岩国徴古館の設立を議決
昭和 17 年 (1942) 9 月 27 日	岩国市横山に本館の建築工事起工
昭和 19 年 (1944) 4 月 1 日	子爵吉川家から寄付の美術工芸および歴史資料をもって岩国徴古館設立
昭和 20 年 (1945) 3 月 10 日	本館の建築工事竣工
昭和 20 年 (1945) 6 月	陸軍燃料廠治療所に徴用される
昭和 21 年 (1946) 4 月	終戦の時、陸軍燃料廠治療所への徴用が解除されたが、その後図書館が本館に仮移転される
昭和 25 年 (1950) 4 月	図書館が元の位置へ移転し、博物館として開館
昭和 25 年 (1950) 10 月 1 日	館内に岩国市史編纂所を設置
昭和 26 年 (1951) 3 月 17 日	岩国市議会において、館の施設および資料を財団法人吉川報効会から市に寄付移管されることを議決
昭和 27 年 (1952) 4 月 4 日	岩国市徴古館設置条例を施行
昭和 27 年 (1952) 4 月 17 日	博物館法による公立博物館に指定
昭和 27 年 (1952) 4 月 22 日	岩国市徴古館館則を施行
昭和 27 年 (1952) 8 月 29 日	博物館法による登録完了
昭和 27 年 (1952) 11 月 1 日	岩国市教育委員会の管理となる
昭和 28 年 (1953) 6 月 4 日	岩国市徴古館特別観覧規程、同寄贈規程、同貸出規程を施行
昭和 32 年 (1957) 6 月 10 日	『岩国市史』刊行
昭和 32 年 (1957) 8 月 31 日	館内の岩国市史編纂所を廃止
昭和 39 年 (1964) 4 月 1 日	岩国市徴古館条例を施行 (岩国市徴古館設置条例を廃止)
”	岩国市徴古館条例施行規則を施行 (岩国市徴古館館則を廃止)
昭和 43 年 (1968) 3 月 17 日	郷土史研究会第 1 回目を開催
昭和 44 年 (1969) 5 月 1 日	館内に岩国市史編纂事務局を設置
昭和 45 年 (1970) 12 月 20 日	『岩国市史』上巻を刊行
昭和 46 年 (1971) 12 月 20 日	『岩国市史』下巻を刊行
昭和 47 年 (1972) 3 月 31 日	館内の岩国市史編纂事務局を廃止
昭和 48 年 (1973) 6 月 30 日	岩国市徴古館条例を施行 (旧条例を全部改正)
	岩国市徴古館条例施行規則を施行 (旧施行規則を全部改正)
	岩国市徴古館特別観覧規程、同寄贈規程、同寄託規程および同資料貸出規程を廃止
平成 3 年 (1991) 10 月 9 日	吉川家より旧藩記録・図書類を寄贈される
平成 10 年 (1998) 1 月 16 日	国の登録有形文化財に登録
平成 18 年 (2006) 3 月 20 日	市町村合併 (1 市 6 町 1 村)
	岩国市徴古館条例を施行 (平成 18 年 3 月 20 日条例第 288 号)
	岩国市徴古館条例施行規則を施行 (平成 18 年 3 月 20 日教育委員会規則第 56 号)
	岩国徴古館に勤務する職員の服務規程を施行 (平成 18 年 3 月 20 日教育委員会訓令第 10 号)
	岩国市博物館収蔵資料審査会規程を施行 (平成 18 年 3 月 20 日教育委員会訓令第 12 号)
令和 2 年 (2020) 7 月 7 日	DOCOMOMO Japan 主催「DOCOMOMO Japan 選定 日本におけるモダンムーブメントの建築」の一つに選定される
令和 3 年 (2021) 3 月 31 日	岩国市博物館等施設再整備計画策定

令和6年度事業

【管理運営】

1. 開館日数・入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数	26	23	26	22	26	20
入館者数	4,352	3,135	2,665	1,865	3,195	2,022

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数	16	26	19	24	24	21
入館者数	1,728	3,170	1,631	2,512	2,290	2,915

	年間合計
開館日数	273
入館者数	31,480

※8月30日(金)台風10号による悪天候のため臨時休館

2. 収蔵資料数 44,824点(令和7年3月31日現在)

3. 施設管理

- ・年間を通じて、施設の安全確認や防災・防犯設備、空調設備および浄化槽の維持点検を実施
- ・令和7年3月12日(水)消防訓練
岩国地区消防組合中央署指導の下、通報及び避難経路の確認、避難訓練を実施

【事業報告】

1. 展示活動

(1) 常設展示

会場：エントランス

○錦帯橋コーナー

錦帯橋の成立について、パネルと映像で紹介

錦帯橋の模型を展示

○中津居館跡一括出土銭展示

平成 23 年度の調査で出土した、中津居館跡一括出土銭を展示

パネルで解説

会場：第二展示室

○岩国の歴史パネル解説

戦国時代から江戸時代の岩国をパネルで解説

○幕末維新記念コーナー

幕末維新における岩国の役割や人物を広く紹介

- ・幕末維新DVD「岩国真話～知られざる幕末維新～」の上映

幕末維新における岩国の役割や人物を紹介する映像

岩国領主・吉川経幹を中心に明治維新までの歴史を山口県出身の声優・ナレーターである若本規夫氏の語りとドラマなどで紹介

- ・幕末維新データベース

タッチパネルで自由に検索ができ、赤禰武人や東沢瀉などゆかりの人物や当時の事件を、音声や映像、写真や文字で詳しく紹介

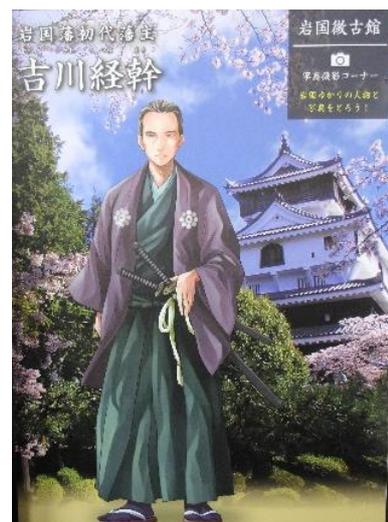
- ・資料・パネル展示

幕末維新の出来事について書かれた実際の書物や資料、時代背景や事件などを時系列でまとめたパネルを展示

市内各地に残る史跡も紹介

- ・記念撮影コーナー

岩国ゆかりの人物のパネルを設置



(2) 企画展示

会場：第一展示室

企画展一覧

令和6年4月1日～令和7年3月31日までに実施した企画展は、次のとおり

企画展名		会期
1	岩国徴古館の今までとこれから	令和6年3月10日(日)～令和6年5月6日(月・祝)
2	岩国徴古館新収蔵資料展 2024	令和6年5月12日(日)～令和6年7月15日(月・祝)
3	岩国を知ろう！岩国の怪談×US-2	令和6年7月21日(日)～令和6年9月23日(月・祝)
4	美に出会う	令和6年10月13日(日)～令和6年12月15日(日)
5	いきものばかり 2025	令和6年12月22日(日)～令和7年3月2日(日)
6	青龍軒盛俊－岩国の刀工展－	令和7年3月9日(日)～令和7年5月11日(日)

【企画展1】

岩国徴古館の今までとこれから

1. 概要

岩国徴古館が担う役割や建物の特徴などを、今までの歩みとともにたどり、岩国徴古館の今後の展望についても紹介

2. 会期 令和6年3月10日（日）

～5月6日（月・祝）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）、

4月30日（火）は開館

3. 開館日数 32日（ただし、令和6年4月1日から5月6日まで）

4. 入館者数 5,684人（ただし、令和6年4月1日から5月6日まで）

5. 展示目録

No.	資料名	時代	備考
1章 岩国徴古館のあゆみ			
1 岩国徴古館の建設と立地－吉川家との深い関係－			
1	旧岩国城下図（横山）	明治時代初期	
2	吉川邸全景	明治時代後期	
3	周防国岩国横山鎮座 吉香神社之真景	明治31年（1898）	
4	吉川重吉公胸像	大正時代頃	
5	岩国学校改修前全景	昭和時代中期	岩国学校教育資料館
2 岩国徴古館という建物－登録有形文化財として－			
6	岩国徴古館パース	昭和17年（1942）	
7	岩国徴古館 建設写真	昭和20年（1945）頃	
8	岩国徴古館図面	昭和17年（1942）頃	
3 岩国徴古館、開始－岩国の歴史を明らかにする－			
9	西湖遊覧志（写本）	寛文4年（1664）	
10	疱瘡遠慮定	宝暦8年（1758）	
11	岩国市史	昭和46年（1971）	
12	理水略	文化2年（1805）	
2章 現在の岩国徴古館の活動			
1 資料収集・保存－過去の記録を未来に伝える－			
13	東蕃蔵宛吉川経幹書状	江戸時代末期	
14	泰平中国御固附	元治元年（1864）	
15	防州岩国錦帯橋図	明治時代初期	
16	山水図	江戸時代中期	
17	鷺図	江戸時代中期	
18	琴	江戸時代末期頃	



19	吉川元春公書状	戦国時代	
20	うどん	昭和時代中期	
21	錦帯橋流出時写真一括	昭和 25 年 (1950)	
<u>22</u>	岩国徴古館第一収蔵庫・第二収蔵庫	明治時代中期頃建設	
23	錦帯橋埋納品	延宝元年 (1673) 頃か	
2 調査・研究—歴史を明らかにする—			
24	兵局ひかゑ	江戸時代末期	
25	御用所日記	慶応 2 年 (1866)	
26	岩邑怪談録	明治 43 年 (1910)	
27	東新右衛門宛吉川広家書状	江戸時代初期	
3 展示—資料の目に見える活用—			
28	赤禰武人絶筆	慶応元年 (1865)	
29	高杉和助 (晋作) 他六名斬罪状写	元治元年 (1864) 11 月頃	
30	玖珂郡志 一	享和 2 年 (1802)	
31	横山 御城之図	江戸時代中期	
32	源氏物語 (写本)	江戸時代頃	
33	源氏物語 (刊本)	承応 3 年 (1654)	
4 普及・周知活動—歴史を生かす—			
34	絵入智慧の環 初編上 詞の巻	明治時代初期	岩国学校教育資料館
35	酒造米石高公儀御附出留書	天保 9 年 (1838)	
36	中津居館出土銭	室町時代頃	
37	商売往来	天保 7 年 (1836)	岩国学校教育資料館
38	庭訓往来	江戸時代中期	
39	六十余州名所図会 周防岩国錦帯橋	嘉永 6 年 (1853)	
<u>40</u>	藤岡市助肖像写真	明治時代後期	岩国学校教育資料館
41	藤岡式電球	明治 27 年 (1894) 頃	岩国学校教育資料館
42	岩国電車軌道開通記念絵はがき	明治 42 年 (1909) 頃	岩国学校教育資料館
43	沢瀉先生自画自賛肖像	明治 21 年 (1888)	
44	名物押形	江戸時代頃か	
3 章 今後の岩国市博物館			
1 新博物館構想—未来に岩国の歴史を伝えるために—			
2 休館中の活動—動き続ける岩国徴古館—			

※資料番号に下線のあるものは、パネル展示

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

(1) 担当学芸員による展示解説

場所：岩国徴古館 第一展示室

日時：①令和 6 年 3 月 23 日 (土) 10 時～10 時 30 分

②令和 6 年 4 月 7 日 (日) 14 時～14 時 30 分

参加者：計 2 人 (4 月 7 日分のみ)

(2) 展示関連体験イベント

①昔のお金を作ってみよう

場所：岩国徴古館 サンライフ岩国 大会議室
日時：令和6年4月27日（土）10時～11時30分
対象：小学3年～高校生

参加者：2名

②徴古館学芸員のお仕事を体験してみよう

場所：青年の家（旧吉川家事務所）
日時：令和6年4月28日（日）14時～16時
対象：小学5年～高校生

参加者：5名

③古銭の鑄造体験

場所：岩国徴古館 サンライフ岩国 大会議室
日時：令和6年4月18日（木）10時～11時30分
対象：18歳以上

参加者：2名

④入門！古文書を読む

場所：サンライフ岩国 大会議室
日時：令和6年4月18日（木）14時～15時30分
対象：18歳以上

参加者：2名

⑤和綴じで自由帳を作ろう

場所：サンライフ岩国 大会議室
日時：令和6年4月27日（土）14時～16時
対象：小学3年生以上

参加者：5名

▼展示関連体験イベント「徴古館学芸員のお仕事を体験してみよう」の様子



7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 「吉川元春花押」 1個 200円

【企画展2】

岩国徴古館新収蔵資料展 2024

1. 概要

岩国徴古館が令和3年～令和6年度までの間、新たに収蔵した資料の中から一部を紹介

2. 会期

令和6年5月12日（日）～7月15日（月・祝）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）、7月15日（月・祝）は開館

3. 開館日数 56日

4. 入館者数 5,265人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	備考
1章 郷土に関する資料			
1	河手氏系譜	昭和時代中期頃	令和4年度寄贈
2	山代風土記（波野村）	江戸時代後期	令和3年度寄贈
3	玖珂郡奥山代風土記（黒沢宇塚邑）	江戸時代後期	令和3年度寄贈
4	教民の詞	慶応4年（1868）	令和3年度寄贈
5	本郷村仕法書付	江戸時代	令和3年度寄贈
6	畑反別一歳収穫書上帳（近延村）	明治6年（1873）	令和3年度寄贈
7	御家御軍功其外 一橋中納言様御家老久田縫殿頭様迄差出候控	寛政9年（1797）	令和4年度寄贈
8	諸事心覚頭上	江戸時代後期	令和4年度寄贈
9	山帳	宝暦11年（1761）	令和4年度寄贈
10	山水松	明治時代	令和4年度寄贈
参考	時藤家書画録	明治時代	令和4年度寄贈
11	御断申上候覚	慶応4年（1868）	
12	重富秀三郎宛書簡	江戸時代末期頃	
13	林義牧派遠州流茶道誓状	天保6年（1835）～ 嘉永4年（1851）	令和3年度寄贈
14	古流活花初伝之巻	明治37年（1904）	令和3年度寄贈
15	五言詩	嘉永6年（1853）	令和3年度寄贈
16	絵葉書 城山の山林	大正7年（1918）～ 昭和7年（1932）頃	令和4年度寄贈
17	絵葉書 広瀬・木谷山の山林	大正7年（1918）～ 昭和7年（1932）頃	令和4年度寄贈
18	岩国椎尾八幡宮三十三年祭写真綴	昭和24年（1949）	令和5年度寄贈
19	白本勝三氏写真	昭和19年（1944）	令和5年度寄贈

20	出征旗（学兵即特攻隊）	昭和 18 年（1943）か	令和 5 年度寄贈
21	集合写真	昭和 18 年（1943）か	令和 5 年度寄贈
22	菊文様彫刻（奥）	大正 13 年（1924）	令和 6 年度寄贈
23	雲文様彫刻（手前）	大正 13 年（1924）	令和 6 年度寄贈
2 章 錦帯橋に関する資料			
24	浮絵防州岩国錦帯橋之図	天保期（1830～1845）	令和 5 年度寄贈
25	白縫八景之内 錦袋橋夕照	文久元年（1861）	令和 5 年度寄贈
26	錦帯橋絵葉書	明治 42 年（1909）	令和 3 年度寄贈
27	天下の奇橋周防岩国錦帯橋風景	昭和 8 年（1933）～ 昭和 25 年（1950）頃	令和 5 年度寄贈
28	岩国名橋錦帯橋天然色写真版	昭和 28 年（1953）以 降	令和 3 年度寄贈
29	絵葉書 周防岩国錦帯橋	大正 7 年（1918）～ 昭和 7 年（1932）	令和 4 年度寄贈
30	錦帯橋絵葉書	昭和 3 年（1928）～ 昭和 8 年（1933）	令和 3 年度寄贈
31	渡初式写真	昭和 28 年（1953）	令和 5 年度寄贈
3 章 大屋家関係資料			
32	大匠手鑑 三	享保 6 年（1721）	令和 5 年度寄贈
33	棟上伝	江戸時代頃	令和 5 年度寄贈
34	妙薬其外色々	安政 4 年（1857）	令和 5 年度寄贈
35	諸経験良方 下	江戸時代頃	令和 5 年度寄贈
36	車懸巻	弘化 2 年（1845）	令和 5 年度寄贈
37	東山先生辺地城図	天保 14 年（1843）	令和 5 年度寄贈
4 章 今田家関係資料			
38	今田山県系図	江戸時代後期	令和 5 年度寄贈
39	今田家伝来の矢 伝頼政公使用	不明（平安時代末期）	令和 5 年度寄贈
40	経高公行状記	江戸時代前期頃	令和 5 年度寄贈
41	吉川元春公書状	天正 10 年（1582）	令和 5 年度寄贈
42	吉川広家公・広正公書状	慶長 3 年（1598）	令和 5 年度寄贈
43	吉川経幹書簡	嘉永 2 年（1849）	令和 5 年度寄贈
5 章 郷土の美術工芸			
44	柳に鯰図	明治 42 年（1909）	令和 4 年度寄贈
45	鶴図	江戸時代後期	令和 3 年度寄贈
参考	静物（リンゴ）	大正 9 年（1920）	河上肇記念会
46	静物	大正時代末期～ 昭和時代初期	令和 3 年度寄贈
47	静物	大正時代末期～ 昭和時代初期	令和 5 年度寄贈
48	短刀（無銘）	不明（室町時代後期）	令和 5 年度寄贈

※資料番号に下線のあるものは、パネル展示

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

担当学芸員による展示解説

日時：①令和6年6月15日（土） 10時～10時30分

②令和6年7月14日（日） 10時～10時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：計20人



▲展示解説の様子（上：6月15日、下：7月14日）

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 河上左京画「静物」 1個 200円

【企画展3】

岩国を知ろう！岩国の怪談×US-2

1. 概要

小学館『ビッグコミック増刊号』で連載されていた『US-2 救難飛行艇開発物語』（著：月島冬二氏）の最終話原画に加え、海上自衛隊岩国航空基地のご協力による貴重な動画により、US-2について紹介

「岩邑怪談録」とともに江戸時代に作られた地誌や絵図といった資料を展示し、岩国の怪談とその舞台となった地域の歴史や風土を紹介

2. 会期

令和6年7月21日（日）～9月23日（月・祝）
ただし、月曜日休館（祝日の場合は次の平日）

3. 開館日数 55日

4. 入館者数 6,246人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	備考
US-2			
1	US-2 タイヤ		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供
2	US-2 模型 (1/48 スケール)		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供
3	US-1A、US-2 編隊飛行写真		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供
4	US-2 脚レバー		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供
5	US-2 ファイアハンドル		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供
6	US-2 錨		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供
7	ドライ (寒冷地) スーツ		海上自衛隊岩国航空基地提供
8	酸素ボンベ		海上自衛隊岩国航空基地提供
9	救助浮舟		海上自衛隊岩国航空基地史料館提供

10	『US-2 救難飛行艇開発物語』最終話原画		株式会社小学館 提供
11	US-2 動画パネル		
12	パイロットコスプレ撮影コーナー		
13	VR コクピット体験コーナー		
岩国の怪談			
「岩邑怪談録」とは			
1	岩邑怪談録 全	明治時代	
2	巖国沿革志 怪談録・追加 乾	明治43年(1910)	
3	巖国沿革志 続怪談録・実事談 坤	明治43年(1910)	
「岩邑怪談録」だけではない岩国の怪談			
4	享保増補 村記 八	享保11年(1726)	
5	玖珂郡志 五	享和2年(1802)	
6	玖珂郡志 三	享和2年(1802)	
7	六呂師の梅雨左衛門(原画)		画：漆原友紀氏 岩国シロヘビの館 所蔵
「岩邑怪談録」からみる岩国の歴史・風土			
8	岩国城平面図	明治元年(1868)頃	
9	岩邑沿革志(三浦本) 三	江戸時代末期	
10	旧岩国城下図(今津)	慶応3年(1867)	
11	享保増補 村記附図 川西村	享保11年(1726)	

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵



▲VR コクピット体験コーナー

6. 関連行事

(1) 岩国の夜！YOKAIの夜！ナイトミュージアム

日 時：8月2日（金）～4日（日）
8月9日（金）～12日（月・祝）
8月16日（金）～18日（日）
8月23日（金）～25日（日）
17時～19時
入館者：計333人

○展示解説（夜）の部（全6回）

日時：8月2日（金）、4日（日）、10日（土）、16日（金）、18日（日）、24日（土）
17時30分～18時

○岩国物の怪地図研究会ゲリライベント「みんなで火の玉提灯を作ろう」（全7回）

日時：8月4日（日）、10日（土）、11日（日）、17日（土）、18日（日）、24日（土）、25日（日）

※展示解説（夜の部）、岩国物の怪地図研究会ゲリライベントについては、申込不要のため参加人数の記録なし。

(2) 担当学芸員による展示解説

日時：①令和6年8月10日（土）10時～10時30分
②令和6年9月8日（日）14時～14時30分
場所：岩国徴古館 第一展示室
参加者：計14人

(3) 展示を見て、YOKAI博士になろう！

日時：企画展会期中
配布数：370枚

(4) 企画展を鑑賞してYOKAIカードを集めよう！

日時：企画展会期中の土曜日・日曜日・祝日
配布数：1160枚

(5) YOKAI列車でGO！岩国めぐり旅（錦川鉄道コラボイベント）

錦川清流線でYOKAI列車（当館所蔵「岩邑怪談録」解説パネル及び岩国物の怪地図研究会の制作物により車内装飾を行い、「YOKAI列車でGO！」仕様の車体ラッピングやヘッドマークを設置した）を特別運航（1日3～4往復運航）した。
日時：7月21日（日）～9月23日（月・祝）

○「ありがとうYOKAI列車」クロージングセレモニー

「ありがとうYOKAI列車」の横断幕を持ってお出迎えをする「ありがとうセレモニー」を開催し、16：50までYOKAI列車の車内を開放した「YOKAI列車展示会」を実施した。
日時：9月23日（月・祝）YOKAI列車最終便（15：32到着）

○スタンプラリー

切符風台紙を用いて、錦町駅周辺の3か所のスポットでスタンプを重ね押しして、YOKAIの絵を完成する

コンプリートした方には、YOKAIコレクションブックおよびYOKAIカード全種類のセットを配布した

切符風台紙配布枚数：1139部

スタンプラリー景品（全種類セット）配布枚数：300部



▲切手風台紙とスタンプの絵柄

7. 刊行物

US-2 オリジナルシリコンバンド1個 400円

US-2 オリジナルクリアファイル1枚 200円

企画展記念缶バッジ「YOKAI缶バッジ」（5種・ランダム）1個 200円

【企画展 4】

美に出会う

1. 概要

当館が所蔵する約 1300 点の絵画資料の中から、風景画を中心に紹介

2. 会期

令和 6 年 10 月 13 日(日)～12 月 15 日(日)

ただし、月曜日休館（祝日の場合は次の平日）

3. 開館日数 55 日

4. 入館者数 6,025 人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	作者名（敬称略）
岩国の風景美			
1	六十余州名所図会 周防岩国錦帯橋	嘉永 6 年（1853）	初代 歌川広重
2	対岸の今津山	大正 5 年（1916）	河上 左京
3	川下の楠木	昭和 57 年（1982）	安東 一光
4	小祠	平成 2 年（1990）	譚 小勇
5	岩国藩御館図	明治時代前期	岸 雪江
6	周防国岩国横山鎮座吉香神社の真景	明治 31 年（1898）	藤田 葆
7	錦帯劇場	昭和 21 年（1946）	Julius Stafford-Baker
8	義濟堂図	明治 15 年（1882）	不明
9	臥龍橋図	昭和時代前期	亀尾 天岳
10	朝の町	平成 4 年（1992）	譚 小勇
日本の風景美			
11	清見寺富士図	江戸時代中期	佐藤 永玄
12	富士山図賛	明治時代	東 沢瀉
13	東海道富士山遠望図	江戸時代頃か	不明
14	富士三十六景 東都一石ばし	安政 5 年（1858）	初代 歌川広重
15	名所江戸百景 日本橋雪晴	安政 4 年（1857）	初代 歌川広重
16	江戸名所道戯尽 廿二 御蔵前の雪	万延元年（1860）頃	歌川 広景
17	東海道五十三次名物名勝図	江戸時代末期	二代 歌川広重
18	絵本江戸土産	嘉永 3 年（1850）頃	初代・二代 歌川広重
19	東海道名所図会	寛政 9 年（1797）	秋里 籬島（著）
20	五十三次名所図会大尾五十五 京三條大はし	安政 2 年（1855）	初代 歌川広重
21	都名所之内 梅尾門前雨中	江戸時代後期頃	長谷川 貞信
22	大日本国郡名所 伊勢	明治元年（1868）	歌川 貞秀
23	播州名所巡覧図絵	文化元年（1804）	秦 石田（著）

24	耶馬溪画帖	明治 23 年 (1890)	松田 竹園
25	八場景図	明治 34 年 (1901)	大草 小雲
26	厳島図屏風	江戸時代中期	斎藤 李節
世界の風景美			
27	橋のある風景	年代不明	市岡 五郎
28	ハイデルベルグの夕立	昭和時代	名島 貢
29	シャルトルの家	平成 2 年 (1990)	村重 勝久
30	小さい鎮の市の立つ日	昭和 63 年 (1988)	譚 小勇
31	重慶望龍門のケーブルカー	昭和 63 年 (1988)	譚 小勇
32	風景画	年代不明	不明
33	峡江帆影	昭和 63 年 (1988)	譚 学階
34	長江放筏	昭和 62 年 (1987)	譚 学階
35	黄河夕渡	昭和 62 年 (1987)	譚 小勇
36	三峡行帆	昭和 63 年 (1988)	譚 小勇

※資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事

担当学芸員による展示解説

場所：第一展示室

日時：①令和 6 年 11 月 16 日 (土) 10 時～10 時 30 分

②令和 6 年 12 月 8 日 (日) 14 時～14 時 30 分

参加者：計 17 人

7. 刊行物缶バッジ Julius Stafford-Baker 画「錦帯劇場」 1 個 200 円

【企画展5】

いきものばかり 2025

1. 概要

絵画・工芸資料や文書資料の中からさまざまな動物を描いた作品を紹介

2. 会期

令和6年12月22日（日）～
令和7年3月2日（日）

ただし、月曜日

（祝日の場合は、その次の平日）、

年末年始（令和6年12月29日（日）～

令和7年1月3日（金））は休館



3. 開館日数 56日

4. 入館者数 5,558人

5. 展示目録

No.	資料名	時代	作者名（敬称略）/備考
実在するいきもの			
哺乳類			
1	犬図	江戸時代	不明
2	猫図	江戸時代後期	初代 歌川 広重
3	蝴蝶と猫（蝴蝶と猫）	昭和63年（1988）	譚 小勇
4	小動物の置物（ネズミ）	年代不明	不明
5	牛・童図	江戸時代中期	内田 虚白斎
6	馬図	弘化2年（1845）頃	内田 耕月
7	絵本写宝袋 巻九	江戸時代中期	橘 守国
8	絵本故事談 五下	正徳4年（1714）	山本 序周 編 橘 守国 画
9	鹿図	江戸時代後期	渡辺 永喜
10	大和名所図会 一	寛政3年（1791）	秋里 籬島 編 竹原 春朝斎 画
11	虎図	江戸時代後期～明治時代	岸 龍山
12	虎図（乍憚口演）	江戸時代後期	鳥屋 熊吉
13	竹筐猛虎図鉄地罽	江戸時代	不明
14	印度象図	文化10年（1813）	不明
15	東京上野公園 水産博覧会	明治16年（1883）	水産博覧会事務所
鳥類			
16	雨中竹鳩図	江戸時代後期	内田 耕月
17	鶏図	江戸時代後期	渡辺 永喜

18	柳燕図	江戸時代後期	佐藤 美信
19	竹雀図賛	江戸時代後期	斎藤 等室
20	川蟬図	江戸時代後期	桑原 幽宅
21	鷹松図	年代不明	不明 (大村か)
22	鷹之書	江戸時代	不明
23	若松鶴図	江戸時代後期	佐藤 美信
24	牡丹孔雀図	明治 11 年 (1878) 頃	岸 雪江
25	摂津名所図会 二	寛政 8 年 (1796)	秋里 籬島 編 竹原 春朝斎 画
26	天鵝湖 (白鳥の湖)	昭和 57 年 (1982)	安琳
27	源氏物語 (刊本)	承応 3 年 (1654)	原作 紫式部
28	絵本写宝袋 八	享保 5 年 (1720)	橘 守国
29	みみずくの手水鉢	寛永 2 年 (1625) 頃	不明
30	梅・叭々鳥図	江戸時代後期	菅 江嶺
爬虫類・両生類・虫類			
31	手鏡	江戸時代後期頃	岩井丹波守正保
32	訓蒙図彙 十三	寛文 6 年 (1666)	中村 惕斎
33	絵本写錦袋	江戸時代中期頃	(橘 守国)
34	虫鏡試伝	江戸時代後期	森島 中良
35	真塗菊に蝶沈金菓子器	年代不明	不明
36	蜻蛉図陰刻色絵肉彫り象嵌素銅地罎	江戸時代後期	不明
特別 展示	蛇図	江戸時代後期	和田石英 個人蔵 (1/4 ~ 3/2)
魚類・貝類・甲殻類			
37	臺図賛	文化 11 年 (1814)	池田 瑞仙
38	蟬・蜻蛉・蟹図	慶応元年 (1865) 頃	田能村 小斎か
39	絵本手引草	江戸時代後期	初代 歌川 広重
40	柳に鯰図	明治 42 年 (1909)	小川 清處 画 平佐 蕉雨 賛
41	金魚	昭和 61 年 (1986)	安琳
42	魚介図	明治 33 年 (1900)	小川 清處
43	岩邑年代記 (三浦本) 二	江戸時代末期	三浦氏
44	鯉図	江戸時代中期	三戸 養因
想像上のいきもの			
45	龍図	江戸時代中期	内田 虚白斎
46	十二支図肉彫り地透かし鉄地罎	江戸時代	不明
47	牡丹獅子図	年代不明	不明
48	唐獅子親子	年代不明	正兼 巖山
49	神獸白沢図	年代不明	不明
50	麒麟龍図打出四足素銅地瓶懸	文政年間 (1818~1831)	村田 整珉
51	麒麟	明治 44 年 (1911) 頃	正兼 巖山

※資料番号に下線があるものは、パネル展示
 ※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館所蔵

6. 関連行事

(1) 担当学芸員による展示解説

日時：①令和7年1月25日(土) 10時～10時30分

②令和7年2月23日(日) 10時～10時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：19人

(2) 推しの動物はどれかな？動物たちの総選挙

内容：展示資料に描かれた動物の人気投票を行う。

方法：企画展室入口に設置した投票用シールを一人1枚とり、出口付近に設置した候補動物投票パネルに貼る。合計枚数の1位の動物はグッズ化。

期間：企画展会期中

投票数：犬/「犬図」	450 票
白沢/「神獣白沢図」	296 票
孔雀/「牡丹孔雀図」	257 票
鯉/「鯉図」	213 票
蜻蛉/「蜻蛉図印刻色絵彫り象嵌素銅地鐺」	190 票
計	1406 票



▲「推しの動物はどれかな？動物たちの総選挙」投票パネルの様子

7. 刊行物

企画展記念缶バッジ 初代歌川広重筆「猫図」 1個 200円

企画展記念缶バッジ 和田石英筆「蛇図」 1個 200円

推しの動物はどれかな？動物たちの総選挙1位のクリアアファイル 「犬図」 1枚 200円

(※投票結果をうけてR6年度に制作)

【企画展6】

青龍軒盛俊—岩国の刀工展—

1. 概要

江戸時代後期から幕末にかけて活躍した刀工（刀鍛冶）・青龍軒盛俊を中心に岩国の刀工たちに関連する資料を紹介（担当学芸員：濱保仁志）

2. 会期

令和7年3月9日（日）

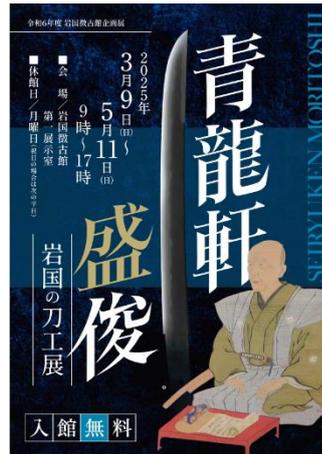
～令和7年5月11日（日）

ただし、月曜日（祝日の場合は、その次の平日）

3. 開館日数 19日（ただし、令和7年3月31日まで）

4. 入館者数 2,612人（ただし、令和7年3月31日まで）

5. 展示目録



No.	資料名	時代	備考
第1章 絵画の中の偉人たち			
1	青龍軒盛俊肖像画	江戸時代末期	
2	御家中系図 イ下	江戸時代末期	
1-1 青龍軒盛俊の江戸行き			
3	暮沙汰帳 天保十一年	天保11年（1840）	
4	輪九曜十文字衝	江戸時代末期	
5	諸証文帳 天保八～十一年	天保12年（1841）	
6	長運齋綱俊之免状	天保9年（1838）	
1-2 青龍軒盛俊の後進育成			
7	諸証文帳 嘉永元～五年	嘉永6年（1853）	
8	暮沙汰帳 元治元年	元治元年（1864）	
9	青龍軒盛俊之目録	江戸時代末期	
1-3 盛俊作刀の最盛期			
10	諸証文帳 天保十四～弘化四年	嘉永元年（1848）	
11	諸証文帳 文久元～四年	慶応2年（1866）	
12	諸証文帳 慶応三～四年	明治4年（1871）	
第2章 描かれる歴史的事件			
2-1 青龍軒盛俊（二代盛俊）			
13	青龍軒盛俊（二代盛俊）之免状	明治30年（1897）	
2-2 蒼龍軒盛俊（三代盛俊）			
14	蒼龍軒盛俊（三代盛俊）肖像画	昭和時代初期	
15	作刀道具	年代不明	
第3章 青龍軒盛俊の刀剣			
16	脇差（青龍軒盛俊作）	天保13年（1842）	

特別展示	太刀（青龍軒盛俊作）	嘉永6年（1853）	
17	刀（青龍軒盛俊作）	元治元年（1864）	
18	脇差（青龍軒盛俊作）	慶応2年（1866）	
19	刀（青龍軒盛俊作）	元治元年（1864）	
20	拵	元治元年（1864）	
21	刀（蒼龍軒盛俊作）	昭和時代初期	
第4章 岩国ゆかりの刀剣			
22	短刀（無銘）	年代不明（室町時代後期）	
4-1 二王派			
23	刀（二王方清作）	江戸時代中期	
4-2 藤村国俊			
24	刀（藤村国俊作）	昭和12年（1937）	
25	短剣（藤村国俊作）	年代不明	
第5章 岩根氏・阿部氏			
26	証記抜萃類聚（公儀え附出）	享保6年（1721）頃	
27	御家中系図 ア	江戸時代末期	
28	諸証文帳 天保十一～十四年	弘化元年（1844）	
29	橋方御不振役者注文	延宝2年（1674）	
第6章 刀装具			
彫金師・永田氏			
30	彫物絵図	江戸時代中期	個人蔵
31	〔彫物下図帖〕	江戸時代中期	個人蔵
参考	刀剣研究 第十四卷第九・十号	昭和3年（1928）	個人蔵
32	縁・頭（永田如竹作）	江戸時代末期	個人蔵
33	鐔（片岡忠義作）	江戸時代前期	個人蔵

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館所蔵

6. 関連行事

（1）担当学芸員による展示解説

日時：①令和7年3月15日（土） 10時～10時30分

②令和7年4月13日（日） 14時～14時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：10人（3月15日分のみ）

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 「脇差（青龍軒盛俊作）」 1個 200円

(3) 特集ミニ展示

会場：第二展示室

特集ミニ展示一覧

令和6年4月1日～令和7年3月31日までに実施した特集ミニ展示は、次のとおり。

展示名		会期
1	藤岡市助と岩国	令和6年4月14日（日）～5月6日（月・祝）

【特集ミニ展示】

藤岡市助と岩国

1. 概要

『マンガふるさとの偉人 日本の電機の父 藤岡市助ものがたり』刊行に合わせて、藤岡市助の人生を故郷・岩国に深く関するものを資料とともに紹介

2. 展示目録

No.	資料名	時代	備考
1	語学所生徒進業表	明治5年（1872）	岩国学校教育資料館
2	藤田日記 三	明治8年（1875）	
3	三吉正一写真		岩国学校教育資料館
4	岩国電車写真	大正時代	
5	興風時報	大正7年（1918）	

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵



▲藤岡市助と岩国電車の写真

2. 教育普及事業

(1) 郷土史研究会

月に1回、当館学芸員または市内外の郷土史家や歴史研究者を講師とし、岩国に関する地方史の研究会を実施。昭和43年(1968)から始まり、現在に至る。聴講は無料・要事前申込。

令和6年度郷土史研究会

開催回	開催日	テーマ・講師	聴講者数
第674回	4月21日	資料から見る安芸香川氏 講師：濱保 仁志 (岩国徴古館学芸員)	33
第675回	5月19日	本郷字塚の楮祈禱所 西村家資料の周辺 写真で見る山代～『錦町史民俗編』のころ～(その4) 講師：金谷 匡人 氏 (元山口県文書館副館長)	31
第676回	6月16日	安芸の鉄生産と吉川氏 講師：安間 拓巳 氏 (比治山大学教授)	35
第677回	7月21日	平氏家人周防岩国氏と源平合戦 講師：齋藤 拓海 氏 (宮島歴史民俗資料館研究員)	36
第678回	8月18日	吉川経幹公について 講師：原田 史子 氏 (吉川史料館主任学芸員)	42
第679回	9月15日	岩国吉川家の家格上昇運動の変容—安永～文政期を中心に— 講師：島井 裕太 氏 (郷土史家)	32
第680回	10月20日	巖流島の決闘を紐解く—決闘の実像と島の歴史— 講師：松田 和也 氏 (下関市立歴史博物館学芸員)	36
第681回	11月17日	芸州口の戦いにおける諸隊との応接—御用所日記を中心に— 講師：松岡 智訓 (岩国徴古館学芸員)	47
第682回	12月15日	東沢瀉とその周辺 講師：枝元 咲 (岩国徴古館学芸員)	40
第683回	1月19日	吉川元春の息子たち～個性のかたまり～ 講師：田中 洋一 氏 (元下関市立歴史博物館学芸員)	61
第684回	2月16日	幕末長州藩における元号「元治」と「慶応」 講師：山崎 一郎 氏 (前山口県文書館副館長)	35
第685回	3月16日	吉川家と宮庄家の関係について 講師：小笠原 美里 氏 (吉川史料館学芸員)	42
合計(人)			470

(2)古文書講座

月に1回、当館学芸員を講師とし、当館所蔵の古文書をテキストに読み方や読解力を身に付ける講座を開催。初めて古文書に触れる方を対象とした「基礎講座」と基礎事項を復習しながら古文書を実践的に読み進める「初級講座」に分かれ、受講者のレベルに合わせた講座進行で実施。テキスト代（半期）500円・要事前申込。

令和6年度の古文書講座

	開催月												合計 (人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎講座	25	25	30	33	26	31	31	33	30	30	31	29	354
初級講座	20	21	20	19	17	19	20	20	16	18	21	18	229
合計	45	46	50	52	43	50	51	53	46	48	52	47	583

(3)博学連携

学校と博物館が相互理解・協力し、未来を担う子供たちに郷土の歴史等に興味を持ってもらうために、出前講座や体験教室、館内利用などを積極的に実施するもの。博物館においては施設や資料の周知、積極的な活用にもつながる。

① 学校行事（社会見学・職場体験・体験・町歩き）

小学校	7件	450人
中学校	2件	29人（教育センター含む）
高等学校	2件	34人

② 出前授業

小学校	6件	539人
中学校	3件	135人
高等学校	2件	22人
専門学校	1件	29人

(内容)

- ・ 岩国市について
 - ・ 通津の文化財・偉人
 - ・ 江戸時代の古文書を読む
 - ・ 町歩き（横山）
 - ・ 昔の岩国でおこった災害
 - ・ 錦帯橋と周辺の史跡
 - ・ 江戸時代の錦見地区の七町について
 - ・ 藤岡市助（山口県の交通網）
 - ・ 岩国電車と藤岡市助
 - ・ 和綴じ本製作
 - ・ 鑄造体験
 - ・ 東地区の今と昔について
- ほか

③ 学校教諭・教員の研修

小学校・中学校	5件		
教員のための博物館の日2024	岩国の歴史編	8月5日（月）	2人
教員のための博物館の日2024	体験学習編	8月7日（水）	4人

④ 博物館実習生の受け入れ 4人

期間：令和6年8月21日（水）～8月30日（金）※土・日・月曜日を除く全7日間

実習展示場所：中2階展示室

テーマ：「七福神～幸せの神様たち～」

⑤ インターンシップ・職場体験の受け入れ

大学生 1人 中学生 2人

⑥ 岩国徴古館主催体験行事（企画展連動講座を含む）

- ・ 和綴じ体験 2回 16人
- ・ 甲冑体験 7回 7人
- ・ 鋳造体験 4回 25人
- ・ 掛軸体験 1回 10人
- ・ 和紙はがき体験 1回 5人
- ・ 入門古文書講座 1回 2人
- ・ 子ども古文書講座 1回 2人
- ・ 子ども学芸員体験 1回 5人

- ・ 岩国歴史博物館ラリー 8月3日（土）～18日（日）90個（景品交換数）

- ・ 錦帯橋芸術文化祭2024ミュージアムスタンプラリー

11月9日（土）～11月24日（日）

150個（景品交換数）

- ・ 浮世絵スタンプ体験（錦帯橋芸術祭2024） 11月9日（日） 57人
- 11月10日（日） 22人
- ・ 錦帯橋オリジナル缶バッジ体験（錦帯橋芸術祭2024） 11月10日（日） 18人

（4）その他

① 毛利氏関連博物館等施設連携事業

- ・ 毛利氏関連博物館等施設連携事業ガイドマップ更新・印刷業務

内容：毛利氏一族の歴史的ストーリーを広く周知し、連携施設の利用及び各市町村の周遊を促進することを目的として、令和5年度に当事業で作成したガイドマップ掲載内容の更新・印刷を行った。

- ・ 家紋ラリーの実施

期間：令和6年12月1日（日）～令和7年2月28日（金）

内容：毛利氏関連博物館等施設の回遊性を高めるため、御将印を集める家紋ラリーを実施した。

御城印販売数：117枚

② 学芸員派遣講座等 16件

- ・ 愛宕まちづくり協議会
- ・ 岩国西ロータリークラブ
- ・ 岩国の歴史を学ぶ会
- ・ 西中国学校茶道連絡協議会
- ・ にしみ地区まちづくり協議会
- ・ 錦川鉄道
- ほか

③ 令和6年度埋蔵文化財公開普及事業（山口県埋蔵文化財センター共催）

- ・ 発掘された山口—山口県埋蔵文化財センター巡回展—

内容：令和3年度に田布施町で実施した発掘調査成果と、過去50年の調査で得た貴重な資料を展示

会場：玖珂あいあいセンター（岩国市玖珂町6316-1）

期間：令和6年9月14日（土）～令和6年10月14日（月・祝）

開館日数：27日

入館者：85人

- ・ 関連講座の実施

演題：「岩国玖珂町清水遺跡の調査から—緊迫の弥生時代—」

講師：石井 龍彦氏（山口県ひとづくり財団山口県埋蔵文化財センター次長）

日時：令和6年9月29日（日）10時30分～12時

場所：玖珂あいあいセンター 研修室1

参加者：28人

3. 調査研究事業

(1) 調査研究報告

「岩国徴古館調査報告書（第5号）」刊行

研究ノート

- ・ 岩国城に関する文献基礎調査について

学芸員 松岡智訓

岩国城や御土居の改修・修繕の履歴について、既存の自治体史や報告書等で示されている内容を改めて整理した上で、文献資料による基礎的調査の概要を明らかにする。

- ・ 旅日記を比較する一関戸宿「重富家文書」から—

学芸員 枝元咲

関戸宿で刀祢を務めた重富家の旅日記を読むことで、江戸時代末期から明治時代中期における重富家の変化を知るとともに、岩国の人々の旅の一事例を明らかにする。

資料紹介

- ・ 岩国徴古館所蔵「山本誠一郎関係資料」について

学芸員 濱保仁志

岩国徴古館が所蔵する「山本誠一郎関係資料」について、資料解題を作成するとともに、資料群に含まれる山本誠一郎の自叙伝「帰正弁」の翻刻を行い、その資料的性格を検討する。

(2) 研修会・講演会

- ・ 令和6年度 博物館・美術館等保存担当学芸員研修 上級コース（7月8日～12日） 受講

主催：独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

4. 資料収集・管理・利用・保存

(1) 資料収集（寄贈・寄託・購入・移管）

資料の収集において、岩国市博物館収蔵資料審査会規定により実施。

① 寄贈資料

No.	名称	点数	備考
1	彫物（錦座）	3	菊文様、雲文様
2	懸魚（錦見若宮神社）	1	
3	錦帯橋写真	1	モノクロ
4	扇子（錦帯橋）	1	
5	徳力富吉郎 《錦帯橋創建三百年記念 錦帯橋三百歳》	1	木版画
6	池田遥邨《錦帯橋》	1	紙
7	渡辺小華か《対幅「梅に鶯」「松に鶴」》	1	絹
8	年貢差札	8	木
9	什器	1	漆器
10	新原家系図	1	紙
11	出征旗（武運長久）	1	布
12	東崇一掛軸	1	
13	軸	1	
14	小笠原流馬道免状（文化14年）	1	まくり
15	小笠原流馬道免状（天保8年）	1	卷子
16	為勢自得天真剛術後目録	1	卷子

② 寄託資料 新規受け入れなし

③ 購入資料

No.	名称	点数	備考
1	小瀬川合戦図	1	
2	九州小倉合戦図	1	
3	周防大嶋郡大合戦	1	

④ 移管資料 新規受け入れなし

(2) 資料管理

岩国徴古館収蔵品管理システム（I. B. MUSEUM SaaS）によるクラウド管理

【インターネットからの閲覧・検索URL】 <http://jmapps.ne.jp/iwakunichokokan/>

(3) 資料利用

資料の利用等において、岩国市徴古館条例および岩国市徴古館条例施行規則により実施

- ① 資料利用申込件数 90件
- ② 資料館外利用申込件数 2件
- ③ 資料等印刷物掲載許可申請件数 30件

(4) 資料保存

岩国徴古館職員およびボランティアによる資料補修作業(休止中)

毎週2日実施

ボランティア登録 16人

5. 情報発信

(1) 広報誌

● 広報いわくに（毎月1日号・15日号発行、市内各戸配布）

- ・ 企画展・講座・イベントの案内
- ・ 「ふるさと歴史アラカルト」

岩国徴古館学芸員による岩国にまつわる歴史読み物

掲載号	表題	内容
4月15日号	岩国徴古館の土地の歴史を深掘り	岩国徴古館が竣工した土地の使用変遷について紹介
5月15日号	日本の電気の父を支えた男・三吉正一	日本の電機の父・藤岡市助を支えた三吉正一について紹介
6月15日号	仕事に追われる村役人 (関戸村の重富秀三郎)	江戸時代末期に関戸村の村役人を務めた重富秀三郎について紹介
7月15日号	岩国の家伝薬	江戸時代の岩国で作られた家伝薬について紹介
8月15日号	飛行艇の歴史	US-2をはじめとした飛行艇の歴史を紹介
9月15日号	弥生時代のコップ	河池遺跡発掘調査で出土した把手付容器について紹介
10月15日号	目で見えない生物との出会い	ミクロ生物と顕微鏡の歴史について紹介
11月15日号	芸術の秋に「美に会う」	岩国市出身の洋画家・名島貢と《ハイデルベルグの夕立》について紹介
12月15日号	冬は天文びより	天文の歴史と岩国で記録された天体現象について紹介
1月15日号	幕末に錦帯橋流れる!?	江戸時代後期にあった岩国に関する噂話を紹介
2月15日号	描かれた蛇たち	「岩国のシロヘビ」の歴史と和田石英が描いた《蛇図》について紹介
3月15日号	刀工・青龍軒盛俊の作刀技術	岩国を代表する刀工・青龍軒盛俊の技術について紹介

(2) ウェブサイト

- 岩国市公式ホームページ 岩国徴古館
URL : <https://www.city.iwakuni.lg.jp/site/chokokan/>

(3) SNS

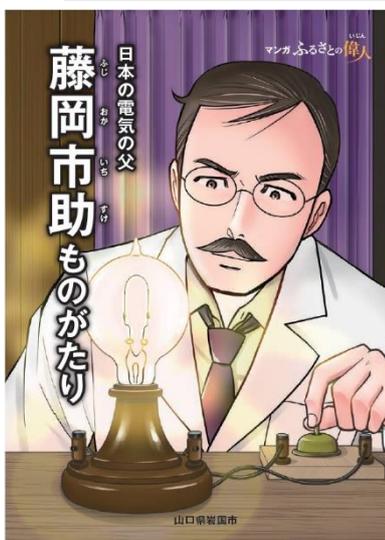
- 岩国徴古館 Facebook 公式アカウント @iwknchokokan
URL : <https://www.facebook.com/iwknchokokan/>
- 岩国徴古館 X(旧 Twitter)公式アカウント @iwkn_chokokan
URL : https://twitter.com/iwkn_chokokan/
- 【新規開設】
- 岩国徴古館 Instagram 公式アカウント @iwakuni_chokokan
URL : https://www.instagram.com/iwakuni_chokokan?igsh=aHNnc2FmZGttcGk0&utm_source=qr
- 岩国市 LINE 公式アカウント
URL : <https://page.line.me/971isqhl?openQrModal=true>

6. 刊行物等

(1) 刊行物等の販売

① 刊行物一覧（通信販売可）

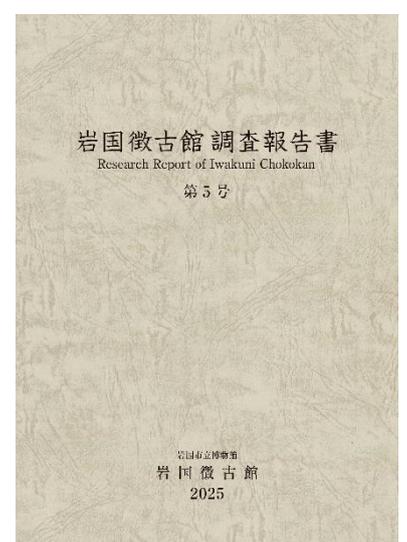
No.	名称	金額 (円)	No.	名称	金額 (円)
1	岩国藩の法令集 (1)	完売	25	改訂求邇雑記	400
2	岩国藩の法令集 (2)	300	26	岩国金石文集	完売
3	岩国藩の法令集 (3)	300	27	享保増補村記	5,000
4	岩邑年代記 (1)	400	28	旧岩国藩御家人帳	200
5	岩邑年代記 (2)	400	29	紙方万覚書	200
6	岩邑年代記 (3)	400	30	坂本家文書	200
7	岩邑年代記 (4)	400	31	錦帯橋関係史料集 1	300
8	岩邑年代記 (5)	400	32	資料集「岩邑怪談録」	500
9	岩邑年代記 (6)	400	101	第一回徴古館蔵品展	1,200
10	岩邑年代記 (7)	400	102	第二回徴古館蔵品展	1,200
11	岩邑年代記 (8)	400	103	第三回徴古館蔵品展	800
12	岩邑年代記 (9)	400	104	中国絵画展図録	1,500
13	岩邑年代記 (10)	400	105	中国現代版画展目録	1,200
14	岩邑年代記 (11)	400	106	近世の岩国の和歌展	400
15	団兵御仕成記 (1)	400	107	江碧波展図録	1,400
16	団兵御仕成記 (2)	400	108	現代中国の絵画と書展	800
17	団兵御仕成記 (3)	400	109	曾徳甫展	1,000
18	団兵御仕成記 (4)	400	110	錦帯橋展図録	1,000
19	団兵御仕成記 (5)	400	111	岩国の焼物展図録	1,000
20	岩国地区開作関係資料	100	112	1946年のイケン	900
21	錦帯橋に関する史料	300	113	今田家伝来資料展	800
22	錦川志	300	114	河上左京	1,700
23	岩国藩連歌集	300	115	岩国の俳句	500
24	改訂柳井種痘日記他	300	116	創建 350 年記念錦帯橋展図録	1,200



No.220 偉人マンガ「藤岡市助」



No.316 クリアファイル（犬図）



No.505 調査報告書 5

201	岩日鉄道の思い出話	150	215	絵図で見る岩国	600
202	僧独立と吉川広嘉	400	216	錦見城下町図（大判）	300
203	下連城と三須成懋	600	217	岩国城下町絵図（横山）	200
204	宇都宮遯庵	950	218	岩国城下町絵図（今津・錦見）	200
205	岩国藩財政史の研究	2,000	219	ブックレット「岩邑怪談録」	200
206	吉川家寄贈図書類目録	600	220	偉人マンガ「藤岡市助」	500
207	吉川家資料目録藩政資料	900	299	地図 あき書房	1,000
208	岩国徴古館資料目録	700	309	花押シール	200
209	第三代奇兵隊総督赤禰武人	300	310	御城印（亀尾城）	100
210	赤禰武人伝	200	501	調査報告書 1	500
211	吉川経幹伝	200	502	調査報告書 2	500
212	東沢瀉伝	200	503	調査報告書 3	500
213	吉川広嘉伝	200	504	調査報告書 4	500
214	DVD 岩国真話	1,000	505	調査報告書 5	500

② その他取扱商品（館内販売のみ）

No.	名称	金額(円)
301	マスキングテープ（錦帯橋）	完売
302	マスキングテープ（岩国のシロヘビ）	200
303	マスキングテープ（U S - 2）	300
304	クリアファイル（岩国徴古館）	200
305	クリアファイル（六十余州名所図会 錦帯橋）	200
306	クリアファイル（錦帯橋夜桜）	200
307	クリアファイル（巴水）	200
308	クリアファイル（U S - 2）	200
311	クリアファイル（海の姫宮の旅）	100
312	トートバック（吉川広家花押）	800
313	マスキングテープ（錦帯橋図/三戸養因）	500
314	クリアファイル（U S - 2・2024）	200
315	ラバーバンド（U S - 2 × 岩国徴古館）	400
316	クリアファイル（犬図）	200
317	オリジナル付箋	300
	絵はがき（各種）	50
	缶バッジ（各種）	200
	缶マグネット（各種）	200



No.314 クリアファイル
（U S - 2・2024）



No.315 ラバーバンド
（U S - 2 × 岩国徴古館）



No.317 オリジナル付箋

令和6年度企画展記念商品

【企画展2】



【企画展3】



【企画展4】



【企画展5】



【企画展6】



○岩国市徴古館条例

平成18年3月20日条例第288号

改正

令和4年12月26日条例第41号

令和5年3月24日条例第12号

岩国市徴古館条例

(目的及び設置)

第1条 郷土に関係のある歴史、芸術、民俗及び産業等に関する資料を収集し、保管又は展示をして市民の利用に供するとともに、市民の教養の向上及び学術研究に資することを目的として、岩国徴古館（以下「徴古館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 徴古館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
岩国徴古館	岩国市横山二丁目7番19号

(職員)

第3条 徴古館に、館長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第4条 徴古館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後でその日に最も近い休日でない日）
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日までの日

(開館時間)

第5条 徴古館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(利用の許可)

第6条 徴古館の資料（以下「資料」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、前項の許可をする場合において、必要があると認めるときは、条件を付すことができる。

(利用の制限)

第7条 市長は、前条の許可を受けようとする者（以下「利用者」という。）の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、利用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 徴古館の施設又は設備を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、徴古館の管理上支障があると認められるとき。

(入館料)

第8条 徴古館の入館料は、無料とする。

(入館の制限)

第9条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、徴古館への入館を拒み、又は退館を命じることができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められる者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物(身体障害者が同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)の類を携帯する者
- (3) その他徴古館の管理上支障があると認められる者

(目的外利用等の禁止)

第10条 利用者は、許可を受けた目的以外に利用し、又はその利用する権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(利用許可の取消し等)

第11条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上必要があると認めるときは、その利用の許可を取り消し、若しくは許可の内容を変更し、又はその利用を停止し、若しくは利用条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 許可を受けた利用の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、市長が必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分により、利用者が損害を受けることがあっても、市は、その損害の賠償の責めを負わない。

(原状回復の義務)

第12条 徴古館の入館者又は利用者は、施設の利用が終わったとき、又は前条第1項の規定により利用の許可を取り消され、若しくは利用を停止されたときは、その利用した資料を速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償の義務)

第13条 故意又は過失により、徴古館の施設、附属設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、市長の指示に従い、同一種類の代替物若しくは相当の対価を賠償しなければならない。ただし、市長が利用者の責めに帰すことができない特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第14条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に、合併前の岩国市徴古館条例(昭和48年岩国市条例第40号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(令和4年12月26日条例第41号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則 (令和5年3月24日条例第12号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

○岩国市徴古館条例施行規則

令和5年4月1日規則第38号

岩国市徴古館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、岩国市徴古館条例（平成18年条例第288号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日及び開館時間)

第2条 条例第4条ただし書の規定による休館日の変更若しくは臨時の休館を決定したとき、又は条例第5条ただし書の規定による開館時間の変更を決定したときは、あらかじめ所定の場所に掲示するものとする。

(資料の利用の手続等)

第3条 条例第6条第1項の規定により、岩国徴古館（以下「徴古館」という。）の所蔵の資料（以下「資料」という。）を利用しようとする者は、徴古館資料利用申込書（様式第1号）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定による許可をしたときは、徴古館資料利用許可書（様式第2号）を申込者に交付するものとする。ただし、簡易なものについては、この限りでない。

(館外利用の資格)

第4条 資料を館外利用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関
- (2) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第10条に規定する社会教育関係団体
- (3) その他市長が適当と認めるもの

(館外利用を禁止する資料)

第5条 館外利用を禁止する資料は、次のとおりとする。

- (1) 貴重品及び破損しやすいもの
- (2) 館内において特に利用度の高いもの
- (3) その他市長が館外利用を不相当と認めるもの

(館外利用の手続等)

第6条 資料を館外利用しようとする者は、徴古館資料館外利用申込書（様式第3号）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定による館外利用の許可をしたときは、徴古館資料館外利用許可書（様式第4号）を申込者に交付するものとする。

3 前項の館外利用の許可を受けた者が資料を利用しようとするときは、資料と引換えに当該資料の徴古館資料館外利用借用書（様式第5号）を市長に提出しなければならない。

4 市長は、管理上必要があると認めるときは、館外利用の許可をした期間であっても資料を返納させることができる。

5 市長は、前項の規定により市長が指示した日までに資料を返納しないときは、その利用を停止し、又は許可を取り消すことができる。

(資料等の印刷物掲載等の手続等)

第7条 資料若しくはその写真等を印刷物に掲載し、又は講演会等で利用しようとする者（以下「申請者」という。）は、徴古館資料等印刷物掲載等許可申請書（様式第6号）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定による許可をしたときは、徴古館資料等印刷物掲載等許可書（様式第7号）を申請者に交付するものとする。

3 第4条、第5条及び前条第3項から第5項までの規定は、資料等の印刷掲載等の許可について準用する。（入館者及び利用者の遵守事項等）

第8条 徴古館の入館者及び資料の利用者（以下「入館者等」という。）は、市長の指示に従い、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外で火気の使用、飲食又は喫煙をしないこと。
- (2) 許可を受けずに印刷物、広告類等を掲示し、又は配布しないこと。
- (3) 許可を受けずに物品等を販売しないこと。
- (4) 資料を個人情報の特定に利用しないこと。
- (5) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、他人の迷惑となるような行為をしないこと。

2 市長は、入館者等が前項の規定に違反した場合は、その行為の中止を指示し、これに従わないときは退館を命ずることができる。

（損害賠償の手続等）

第9条 入館者等が、条例第13条本文の規定により賠償しようとするときは、次に定めるところにより、市長の承認を受けなければならない。

- (1) 同一種類の代替物をもって賠償しようとするときは、徴古館資料等代替物賠償願（様式第8号）に、当該代替物を添えて提出するものとする。
- (2) 相当の対価をもって賠償しようとするときは、徴古館資料等現金賠償願（様式第9号）に、市長が対価に相当すると認める額の現金を添えて提出するものとする。

2 市長は、条例第13条ただし書の規定により、次に掲げる区分で賠償を免除することができる。

- (1) 全部を免除する場合
 - ア 入館者等の責めに帰すことができない理由によるとき。
 - イ その他市長が特別な理由があると認めるとき。
- (2) 一部を免除する場合 前号に規定するもののほか、市長が特に認めるとき。

（寄贈の手続）

第10条 徴古館に実物等を寄贈しようとする者は、徴古館資料寄贈申込書（様式第10号）を市長に提出しなければならない。ただし、簡易なものについては、この限りでない。

（寄託の手続等）

第11条 徴古館に実物等を寄託しようとする者は、徴古館資料寄託申込書（様式第11号）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定による寄託に応じた実物等は、資料と同様の取扱いをすることができる。

（備付帳簿）

第12条 徴古館には、次の帳簿類を備え付けなければならない。

- (1) 業務日誌
- (2) 資料台帳
- (3) 備品台帳
- (4) 寄贈及び寄託に関する帳簿
- (5) その他必要な帳簿類

（補則）

第 13 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

※紙面の都合により様式第 1～11 号は省略

2025 年 3 月 31 日発行

令和 6 年度岩国徴古館年報

発行 岩国徴古館
岩国市横山二丁目 7 番 19 号